

あすなろ

熊谷女子高等学校
図書委員 第676号
2021年 9月 29日 発行

You have to start where you are.
始めるところから始めるしかないんだ。

今年も、去年から続く、COVID-19の感染拡大に伴い、リモート授業が始まりました。と、いうことで9月7日現在における、COVID-19の感染状況を記します。

PCR検査検査率 (76.7%)
陽性率 (6.8%)
陽生者中入院措置 (74%)

師曰く 「過ごし方を振り返る」

文化祭の代休で、平日の朝から家にいることになった。いつもと同じ時間に起きて家族を見送ったあと、ふと一息つける時間が久々で嬉しかった。いつもと違う平日といえば、小学校を欠席した日は、少しの罪悪感と高揚感、身体のたるさが相まって、特別な感じがした。風邪を引きやすい夕チだったため、年に数回はこの特別感を味わっていた。リビングの隅に布団が敷かれ、おじやを食べながら、テレビを眺めるのがお決まりで、『がんばりちゃん』や『つくってあそび』だと

入院措置者中重症者 (7%)

入院措置者中死亡者 (7.7%)

全人口中COVID-19陽性者 (7.2%)

数字を見れば、天然痘(死亡率20〜50%)や、ペスト(死亡率30〜60%)よりも確実に劣りますが、依然として感染力の高い変異株の出現があり、ワケチ



(出典、厚生労働省、国立感染症研究所)

アタリだった。『しぜんとあそび』や『おはなしのくに』だと、「今日はちよっとハズレだなあ」なんて偉そうに思った。その後は、風邪薬に誘われるまま眠り、放課後に友達が連絡帳を持ってきてくれるのを待った。なんとも呑気で贅沢な一日である。しかし、当然だが、平日休みの過ごし方は変化する。数年前の私なら電車に乗ってショッピングに出かけただろうが、先日はあらゆるものの洗濯、食材の買い出し、料理のストック、家中の掃除をして、充実した休みとなった。ただ、『みいつけた』と『考えるカラス』だけは、テレビの前から動かずにじっくり観た。変わったこともあれば、変わらないこともある。

☆このコーナーは熊女の先生から生徒たちへのメッセージです。

この有用性があまりないとされていきます。3〜5年は収束にかかるでしょうが、予防に ついていまいしょう。

また、嬉しいことに、今年も例年ほどは暑くないために、マスクをしたままでも過ごしやすい。ていませ。

虚言に踊らされることなく、未来を見据えて、これからを過ごしていきたいましよう。

熊女生生へのおすすめ本

北風又美子先生(国語)
「へろへろ」
『雑誌』『レオ』『電』
著者：鹿子 裕文

●お金も権力もない老人介護施設よりあいの人々拭森のような場所に出会い土地を手に入れ必死でお金を集めながら特別養護老人ホームがくりこりに挑む物語

○この本との出会い
著者の方の抜けた文章と奥村門土(モンドくん)のパンチの効いた絵に心惹かれました。

○おすすめポイント
老後の暮らしを考えると、いままだ早い皆さんにとっては、知恵と仲間と笑いがあればたいいどうにかなるという人々の真実(？)に気がく一冊になるはず。

一つのメルヘン

中原中也

秋の夜は、ほるか彼方に、小石ばかりの河原がわいて、それに陽は、さうさうとさうさうと射れてゐるのでありました。

陽といつても、まるで小石か何かのやうで、非常な個体の粉末のやうで、さればこそ、さうさうとさうさうと音を立ててもゐるのでした。

さて小石の上は、今レモラの珠かともり、淡い、それでいてくつきつとした影を落とれてゐるのでした。

やがてその珠は見えなくなると、いつのまにか、今迄流れてもゐなかつた川床に、水はさうさうとさうさうと流れてゐるのでありました……

出典
詩集『在リレ目の歌』より

広報班